



## EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスタで構成されます。ロゴは、6つのクラスタが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

# カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(14)



活動日時 2018年12月16日(日) – 12月18日(火)

活動従事者 桑山尚司, 大坂遊 (教育研究推進員), 丸山博章 (広島県西部教育事務所芸北支所・指導主事)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会 (提案自治体: 広島県) が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に、専門家の派遣で協力しています。2018年12月16-18日、EVRIメンバーの桑山, 教育研究推進員の大坂, そして広島県西部教育事務所芸北支所の丸山博章指導主事がカンボジアに渡航し、研修を実施しました。今回の研修目的は、「新シラバスの理念を実現するには、どのような教科書が望ましいか」、授業研究をとおして検討すること (パイロット調査) です。

16日に教育省で開催した研修では、パイロット調査に向けた目的と課題の共有が行われました。地理と道徳・公民グループが開発した単元のモデル教科書が提案された後、大坂や丸山指導主事が研修の目的と授業観察の視点について説明しました。

17日と18日には、プノンペン市内4か所の小・中学校の協力を得て、パイロット調査の研究授業と検討会が行われました。研修参加者は、現行教科書を使った授業と新モデル教科書を使った授業を比較検討しながら、新教科書の形式や活用法について議論を重ねました。検討会後には授業者に新モデル教科書の使用感や要望について聞き取り調査を行いました。聞き取りの結果は、調査に参加した新モデル教科書の開発者に直接フィードバックすることができました。

本研修を通して、教科書開発者のみならず学校関係者の間でも、新シラバスの理念を実現する教科書と授業の魅力や意義が伝わりました。また、教育省のスタッフの間では、より主体的に教科書の開発・改善に参加しようという意欲が見られるようになりました。

今回の研修で得られた知見を活かして、2019年2月には、別の単元を対象とした同様の研修を実施する予定です。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1  
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

